ONKYO

WAVIO AV SYSTEM

PCI DIGITAL AUDIO BOARD

SE-90PCI

インストールマニュアル

ご使用になる前に 2

接続する 11

パソコンの設定 14

再生する 22

その他 24

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「インストールマニュアル」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

特長

先進のデジタル技術と高度なオーディオノウハウを融合して、徹底したノイズ低減を実現した画期的オーディオボード。新回路設計、デジタル出力端子装備、金メッキ端子採用など、圧倒的なサウンドパフォーマンスでこれからのデジタルオーディオ時代に対応します。

■ SN比110dB：徹底したノイズ低減を実現するVLSC回路を搭載

■ オーディオ用部品の選択から配置まで徹底した高品位設計

■ VIA社ENVY24MTオーディオコントローラー採用

■ デジタル出力：最大24bit/192kHz

■ 高品位音質コンデンサー・銅バスプレート採用など高級オーディオアンプなみの基板構成

■ マルチch出力対応デジタルOUT端子装備

■ A3D・EAXによる3Dサウンド対応

本製品をお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。
- WAVIO AV SYSTEMの名称およびロゴはオンキヨー株式会社の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows® 2000 Professionalは、米国 Microsoft corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書に記載されているハードウェアおよびソフトウェアの名称は、各社の商標もしくは登録商標です。

目次

ご使用になる前に

特長 2
目次 3
安全にお使いいただくために 4
箱を開けたら、まず 8
各部の名称と働き 8
付属のフルサイズブラケットについて 9
必要なシステム構成 10

接続する

オーディオボードの取り付け 11
BIOSの設定 11
オーディオボードの取り付け 12
オーディオ機器との接続例 13

パソコンの設定

パソコンの設定 14
ドライバのインストール（Windows XPの場合） 14
ドライバインストールの確認 17
オーディオデバイスの確認 17
オーディオコントロールパネルを使う 18
オーディオコントロールパネル（Audio Deck）の起動方法 18
スピーカーの接続状況を確認する（スピーカー設定） 18
パソコンから出力される音声ボリュームを調整する（ソース） 18
デジタル出力に関する設定やその他拡張設定を行う（拡張設定） 19
QSoundを使用する（QSound） ... 20

再生する

再生のしかた 22
パソコンの音声をアンプ内蔵のPC用スピーカーで再生する（ライン出力） 22
パソコンの音声を2ch/マルチchデジタル音声で再生する 23

その他

主な仕様 24
困ったときは 25
修理について 27
お客様ご相談窓口 27

安全にお使いいただくために

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「インストールマニュアル」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにPC（パーソナルコンピュータ）本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に改造しない

分解禁止

● 本製品を分解 改造しないでください。火災·感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本製品は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 中に水や異物が入ったら

● 万一、本製品の内部に水や異物が入った場合は、すぐにPC本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

● 万一、誤って本製品を落としたり、破損した場合は、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。必ず販売店にご相談ください。

安全にお使いいただくために

⚠注意

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本製品を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■取り付けと静電気について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 本製品の取り付けは、必ずPC（パーソナルコンピュータ）本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源を入れたままでの取り付けは、絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。
- 本製品を装着する場合や、ボードに触れる場合には、アースが接続されているものに触れ、身体の静電気を取り除いておいてください。
- 本製品は部品の帯電による故障防止の為、静電気防止袋で保護されています。装着の準備が整うまで、本製品を静電気防止袋から取り出さないでください。

- 本製品に触れるときには、縁や取り付けの金属部分を持つようにしてください。ボード上の部分や端子部分には触れないでください。
- プラスチック、ビニール、羊毛の繊維製品等静電気を発生しやすいものは遠ざけておいてください。
- 冬場など空気の乾燥した時期には静電気を取り除く際に、衝撃を受けることがあります。この場合には金属製のスプーンなどを手にしっかり握り、スプーンの先で水道管に触るようにすれば、放電の衝撃を和らげることができます。

⚠注意

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のためPC本体の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。

  本製品の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本製品にかけないでください。変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

♪音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分しましょう。
特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

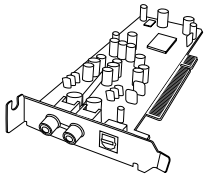
箱を開けたら、まず

ご使用の前に箱の中身をお確かめください。［ ］内の数字は数量を表しています。

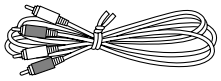
インストールマニュアル
［本書1］

保証書［1］

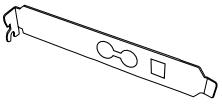
インストールCD-ROM［1］



オーディオボード［1］



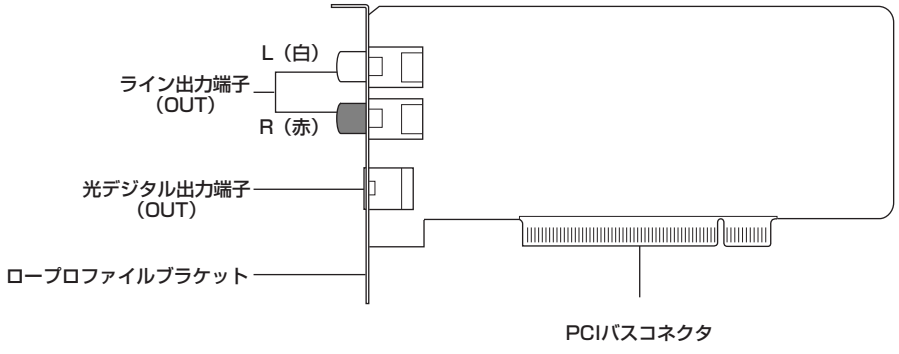
オーディオ用ピンコード（1.5 m）［1］



フルサイズブラケット［1］

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内［1］

各部の名称と働き

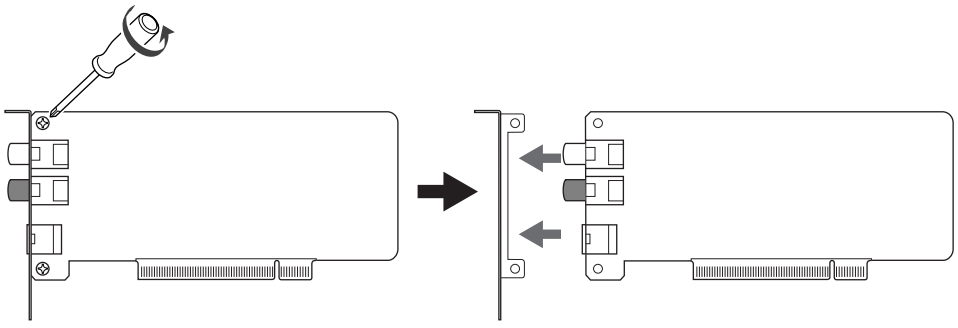


付属のフルサイズブラケットについて

お買い上げ時は、本製品にロープロファイルブラケットが装着されています。
お手持ちのPCケースのサイズに応じて、付属のフルサイズブラケットに付け替えてご使用ください。

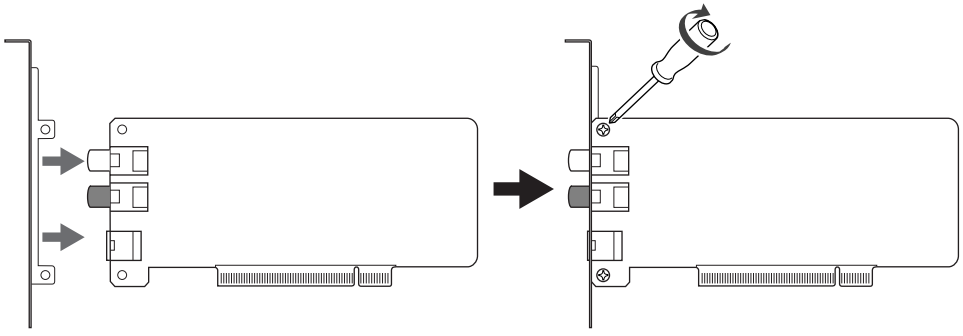
1. ロープロファイルブラケットを取り外す。

   ドライバーを使ってねじ（2箇所）をはずし、ブラケットを取り外します。



2. フルサイズブラケットを取り付ける

   端子の位置にあうように取り付けて、ねじ（2箇所）で固定します。



箱を開けたら、まず

必要なシステム構成

- Intel® Celeron® 800MHz以上（Pentium® III 800MHz以上推奨）
- 128MB以上のメモリー
- 40MB以上のHDD空き容量
- PCIバス空きスロット1つ（Ver. 2.1以上）を持つPC/AT互換機
- ソフトウェアインストール用のCD-ROMドライブ
- Windows® XP* SP1またはSP1a以降日本語版、Windows 2000 Professional* SP3以降
  * システム管理者権限（Administrator）でのみ使用可能です。
  * Windows 2000ではOSによる制限のため最大24bit/96kHzまでしかサポートしていません。Windows XPをご使用でもお手元のアプリケーションソフトウェアの状況およびPC環境により24bit/192KHzの出力が不可能な場合があります。

当社Webサイト（http://www.jp.onkyo.com/wavio/）には最新の情報や追加・変更情報が公開されていることがあります。作業を始める前に当社Webサイトをご確認頂くことをお勧めいたします。また、ドライバ等の更新もWebサイトにて行います。

オーディオボードの取り付け

ご注意

オーディオボードの取り付けを始める前に、必ず「安全にお使いいただくために」の注意事項を確認してください（4〜7ページ参照）。

BIOSの設定

PCによってはオーディオ機能をマザーボードに内蔵しているものがあり、そのままの状態では本製品が正しく動作しない場合があります。
本製品を使用するには、BIOSセットアップユーティリティでマザーボードのオーディオ機能を無効にすることを推奨します。PCのオーディオ機能、BIOSセットアップユーティリティについては、PCに付属のマニュアル等をご確認ください。

1. PCの電源を入れます。
2. Windowsが起動する前に、BIOSセットアップユーティリティを起動します。
3. オーディオデバイスが有効になっていれば、無効に設定します。（ゲームポートとMIDIポートの設定項目があればそちらもあわせて無効に設定します。）
4. 設定を保存し、BIOSセットアップユーティリティを終了します。

オーディオボードの取り付け

オーディオボードの取り付け

1. PC（パーソナルコンピュータ）と周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. PCのケース金属部分に触れ、身体の静電気を放出します。

   ご注意

   静電気の放出を行わないと、ボードやPC本体を破壊することがあります。

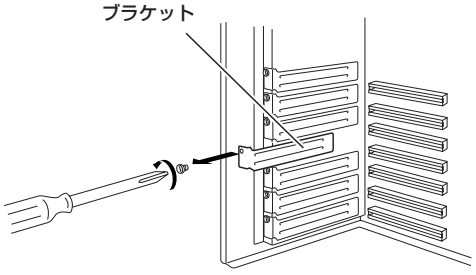
3. PCのケースをはずします。

   ヒント

   ケースのはずし方は、お手持ちのPCの取扱説明書を参照してください。
4. PCIバス拡張スロットの位置を確認し、拡張スロットのブラケットを止めているネジをはずします。
5. ブラケットを取りはずします。はずしたブラケットは保管しておいてください。

   ご注意

   PC内部やボードには突起がありますので、けがをしないように注意してください。



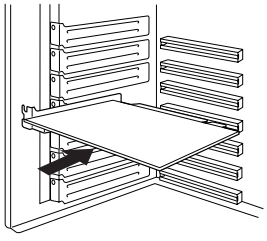
ご注意

ドライバーはネジにあったものをご使用ください。ネジにあわないドライバーを使用されますと、ネジを破損するおそれがあります。

ヒント

はずしたネジはボードの取り付けに使用します。

6. メインボードの金属端子部分やピンを曲げないように注意してPCIバスコネクタにまっすぐに挿入します。



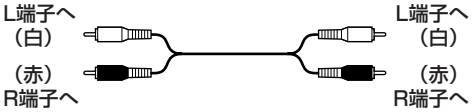
ご注意

この時メインボードが拡張スロットにしっかり挿入、固定されているか必ずご確認ください。
正しく挿入されていないと、認識できなかったり誤動作の原因となる場合があります。

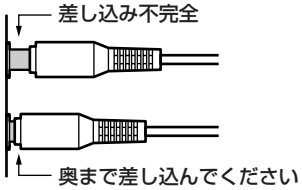
7. 手順4で取りはずしたネジでメインボードを拡張スロットに固定します。

〈接続する前に〉

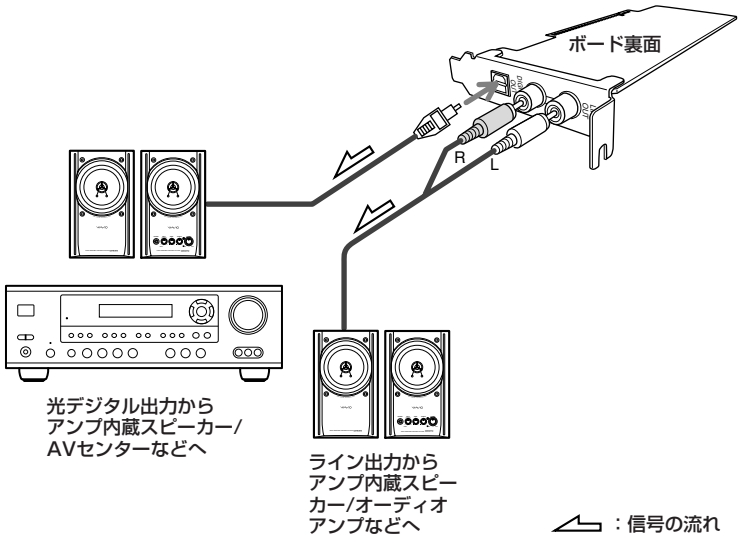
- オーディオ用ピンコードは、次のように接続してください。



- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。



オーディオ機器との接続例



パソコンの設定

OSのバージョンによって表示される画面構成や文字が違う場合があります。

ドライバのインストール（Windows XPの場合）

ご注意

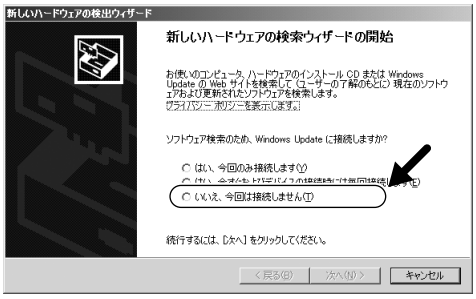
インストール作業を開始する前に必ずPCの電源が切れていることを確認してください。

1. パソコンの電源OFF状態であることを確認して、SE-90PCIを空いているPCIスロットに差し込みます。

2. SE-90PCIが確実にパソコンに取り付けられていることを確認した上で、パソコンの電源をONにしてください。

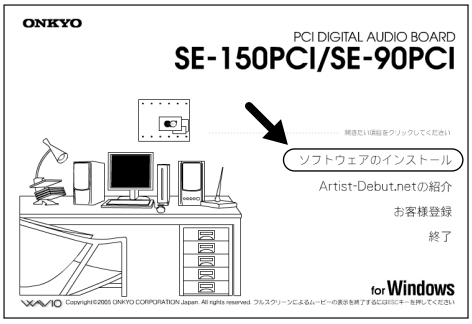
3. Windowsが起動しSE-90PCIが検出されますと、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが開き、「ソフトウェア検出のため、Windows Updateに接続しますか」の画面が表示されます。
その場合は、［いいえ、今回は接続しません］を選択し、[次へ]をクリックします。
WindowsXP SP1またはSP1a/2000をご利用の場合は、「ソフトウェアを自動的にインストールする」が選択されているのを確認した上で、右下に表示されている「次へ」をクリックして、完了させてください。

Windows XP SP2の場合

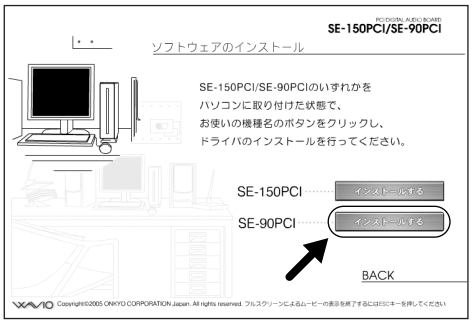


4. 製品に付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
画面が現れるまで少しお待ちください。
画面が現れない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

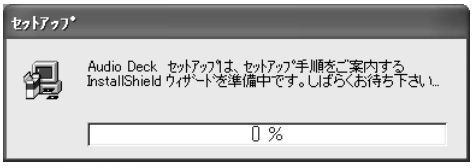
5. ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。



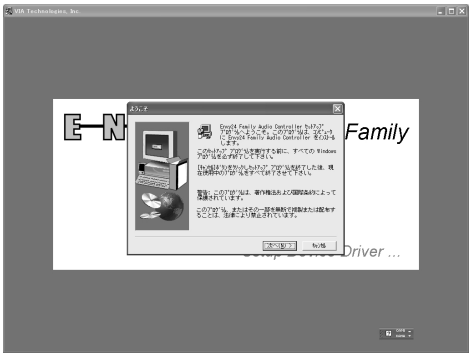
6. SE-90PCIの［インストールする］をクリックします。



7. しばらく待つとセットアップがスタートします。



8. 「ようこそ」の画面が表示されますので内容を確認した上で「次へ」をクリックしてください。



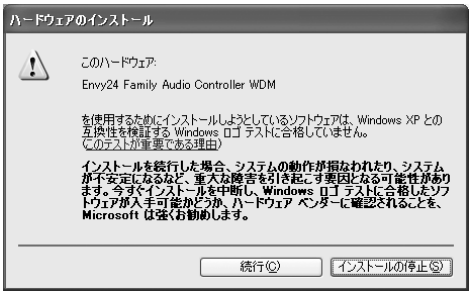
9. 「コンポーネントの選択」画面が表示されますので「Install Envy24 Family Audio Device Driver」が選択されているのを確認した上で「次へ」をクリックしてください。

パソコンの設定

10.「インストール先の選択」画面が表示されますのでプログラムのインストール先を指定した上で「次へ」をクリックしてください。特に指定がない場合はこのまま「次へ」をクリックしてください。

11.インストールの途中で次のウィンドウが表示された場合は「続行」をクリックしてインストールを進めてください。

※「Windowsロゴテストに合格していません」という警告メッセージが表示された場合は、「続行」をクリックしてインストールを進めてください。動作上、問題のないことを弊社で確認済みです。



12.「セットアップの完了」ウィンドウが表示されますので「完了」をクリックしてパソコンを再起動してください。

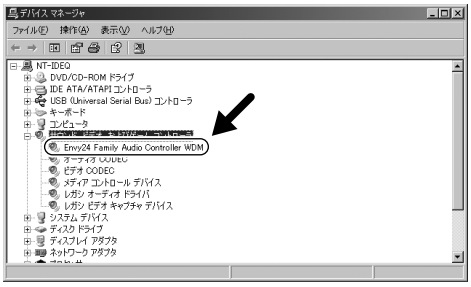
13.以上でインストールは終了です。

ドライバインストールの確認

ドライバのインストール終了後、「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」を開き、「システム」をクリックします。「システムのプロパティ」画面で「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」のボタンを押します。デバイスマネージャ画面で次のデバイス名が正常に認識されているか確認してください。

サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ

- Envy24 Family Audio Controller WDM



♪ヒント

OSのバージョンによって表示される画面構成や文字が違う場合があります。

Windows 2000の場合は、
「コントロールパネル」→「システム」を開き、「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンを押します。

オーディオデバイスの確認

「コントロールパネル」→「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」を開き、「サウンドとオーディオデバイス」をクリックします。サウンドとオーディオデバイスのプロパティ画面で、「オーディオ」タブを選択します。
音の再生の既定デバイスが「Envy24 Family Audio (WDM)」になっていることを確認してください。

♪ヒント

OSのバージョンによって表示される画面構成や文字が違う場合があります。

Windows 2000の場合は、
「コントロールパネル」→「サウンドとマルチメディア」を開き、「オーディオ」タブを選択します。

オーディオコントロールパネルを使う

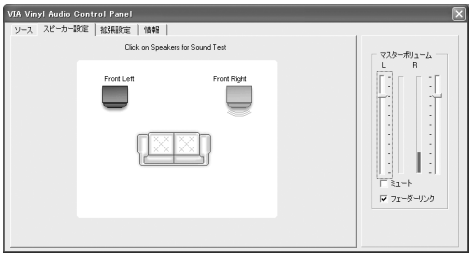
オーディオコントロールパネル（Audio Deck）の起動方法

タスクトレイ上のオーディオコントロールアイコンをクリックして起動させることができます。
もし拡張設定タブの設定（19ページ）で「Windows起動時にコントロールパネルを起動する」のチェックをはずしている場合はスタート→すべてのプログラム→Audio Deck→Audio Deckを選択して起動します。

オーディオコントロールアイコン

スピーカーの接続状況を確認する（スピーカー設定）

「スピーカー設定」パネルでは接続している各スピーカーのサウンドチェックを行います。
サウンドチェックを行いたいスピーカーをクリックしてください。選択したスピーカーのアイコンが点灯している間に選択したスピーカーからテストサウンドが出力されます。

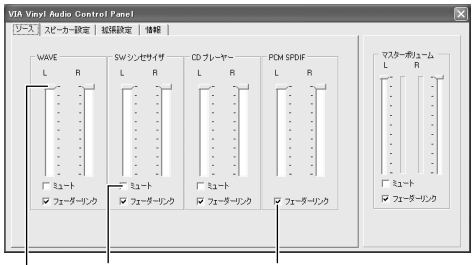


パソコンから出力される音声ボリュームを調整する（ソース）

「ソース」パネルではパソコンから出力される各音声に関する設定を行います。

ボリュームフェーダー
各音声のボリューム量を調整します。調整しているボリュームの枠内にあるフェーダーリンクのチェックボックスにチェックがついている場合は枠内のボリュームフェーダーは同期して上下に移動します。

ミュート
枠内の音声を止めたい場合にクリックしてチェックをつけます。
もう一度クリックするとチェックが外れ、音が出ます。



ミュート　フェーダーリンク

ボリュームフェーダー

フェーダーリンク
枠内のボリュームフェーダーが同期して上下に移動します。別々にボリュームフェーダーを調整したい場合はフェーダーリンクのチェックボックスをクリックしてチェックを外してください。

デジタル出力に関する設定やその他拡張設定を行う（拡張設定）

「拡張設定」パネルではさらに細かい設定を行うことが出来ます。

サンプリングレート情報
サンプリングレート選択で選ばれたサンプリングレートが表示されます。

サンプリングレート選択
デジタルアウト端子から出力するサンプリングレートを選択します。音楽を再生中に選択を切り替えた場合に変更を有効にするには一旦再生を停止してから再度再生を行ってください。

Immezio 3D Effect
QSoundおよびEAX・A3Dなどのサラウンド効果を有効にする場合は「Sound Effects / 3D Gaming Support」のチェックボックスにチェックをつけてください。この設定を有効にするにはシステムの再起動が必要です。設定有効後、QSoundのページが表示されます。QSoundの各設定についてはQSoundの項を参考にしてください。

Digital Outを使用する
デジタルアウト端子からのデジタルアウトを有効にするにはチェックをつけてください。デジタルアウトを行わない場合はチェックを外してください。

S/PDIF Out Control
デジタルアウト端子から出力する音声の形式を選択します。
マルチチャンネル対応のAC3形式と2ch出力用のPCMの両方を出力するかどちらか一方を出力するかを選択します。

設定
その他の設定を行います。

タスクバーにMicrosoftスピーカアイコンを表示します…タスクバーにMicrosoftスピーカアイコンを表示する場合はこのチェックボックスにチェックをつけてください。

Windows起動時にコントロールパネルを起動する…Windows起動時にコントロールパネルを起動する場合はこのチェックボックスにチェックをつけてください。

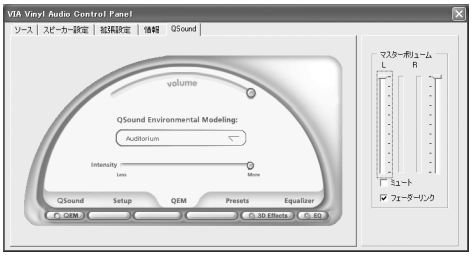
オーディオコントロールパネルを使う

QSoundを使用する（QSound）

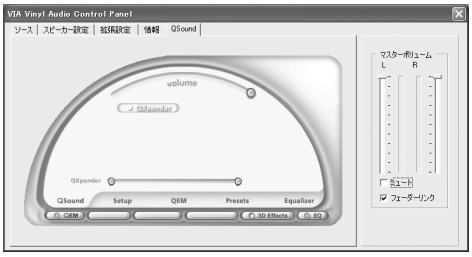
「QSound」パネルでは「QSound」を利用してさまざまなサラウンド効果やイコライザ機能を付加して再生することができます。

QEM…残響効果などを付加します。
下段のQEMボタンを押してグリーンのランプが点灯している間に効果は有効となります。効果を無効にする場合は再度ボタンを押してランプを消灯させてください。

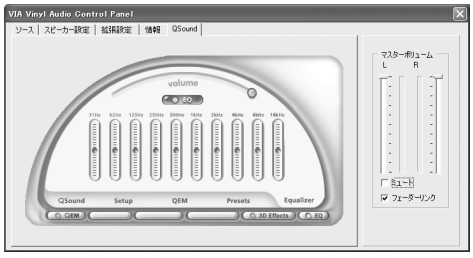
QEMの残響効果の設定についてはQEMパネルを選択して残響効果の種類とその効果の強さをパネル上で設定してください。



3D Effects…2chスピーカーでの3次元的な広がり感を付加します。
下段の3D Effectsボタンを押してグリーンのランプが点灯している間に効果は有効となります。効果を無効にする場合は再度ボタンを押してランプを消灯させてください。
3D Effectsの設定についてはQSoundパネルを選択して効果を調節してください。

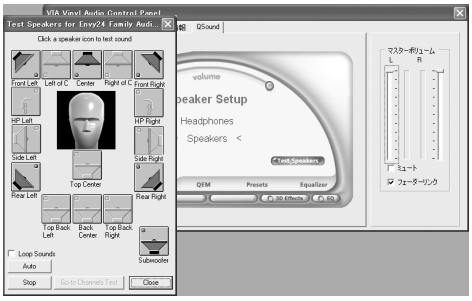


Equalizer…イコライザー機能を使用します。
下段のEQボタンを押してグリーンのランプが点灯している間に効果は有効となります。効果を無効にする場合は再度ボタンを押してランプを消灯させてください。
イコライザーの設定についてはEqualizerパネルを選択してください。

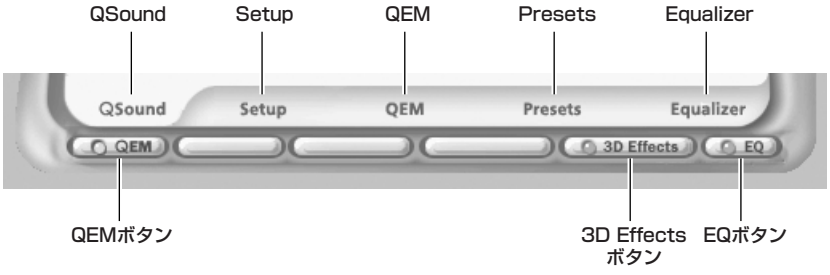


Presets…イコライザーのプリセットを呼び出します。

Setup…QSoundのサウンドチェックを行う場合はSetupパネルを選択してTest Speakersのボタンをクリックしてサウンドチェック画面を開いてください。



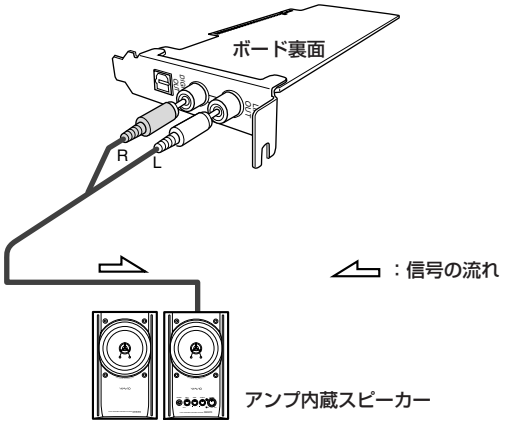
QSoundパネルで使用するボタンとタブ



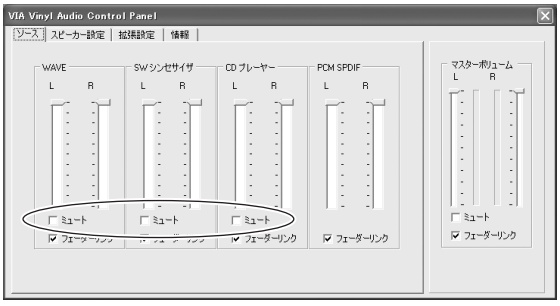
再生のしかた

パソコンの音声をアンプ内蔵のPC用スピーカーで再生する（ライン出力）

1. PCスピーカーを図のようにSE-90PCI本体に接続します。



2. タスクトレイ上のオーディオコントロールアイコンをクリックしてオーディオコントロールパネルを起動します。「ソース」パネルで再生したい音声の「ミュート」のチェックボックスにチェックが入っていないか確認し、入っている場合はチェックを外してください。

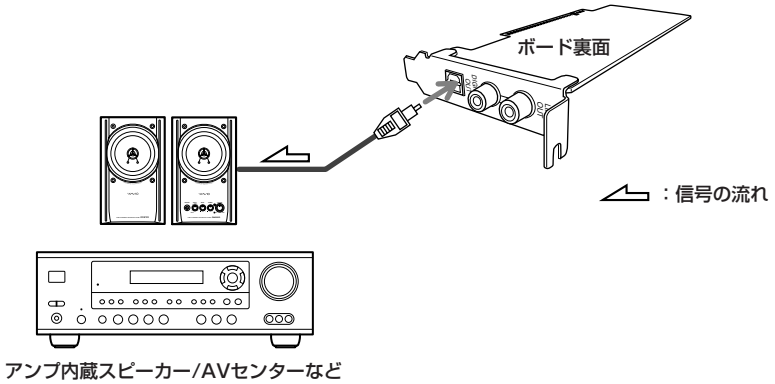


3. Windowsに付属の「Windows Media Player」などで音声を再生します。

パソコンの音声を2ch/マルチchデジタル音声で再生する

1. アンプ内蔵スピーカーやAVセンターなどを図のようにSE-90PCI本体に接続します。

   接続には市販のオーディオ用光デジタルケーブルをご使用ください。



2. DVDプレーヤーソフトなどで音声を再生します。

   デジタルアウトについては、マスターボリュームで調整できません。オーディオコントロールパネルの「ソース」パネルにあるPCM SPDIFのボリュームで調整してください（18ページ参照）。
   デジタル出力に関する設定については19ページを参照ください。

ご注意

Windows 2000でマルチchデジタルの再生をおこなう場合は、SP3以降がインストールされている必要があります。

主な仕様

接続方式：	PCIバス（PCI ver. 2.1以上）	
デジタル出力サンプリング周波数：	32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHz	
周波数特性：	0.3Hz ～ 44kHz（+0/−0.5dB）	
SN比：	110dB（A-フィルタ）	
全高調波歪率：	0.003%（1kHz, 0dB）	
ライン出力レベル：	2.0Vrms	
音声出力：	デジタル	DIGITAL OUT×1（光）
	アナログ	LINE OUT×1（ステレオRCA）
外形寸法（幅×高さ×奥行）：	22×80×161 mm（ロープロファイルブラケット装着時）	
質量：	90g	

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

困ったときは

正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。これらの処理をしても直らないときやこれ以外の症状のときは、「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名（SE-90PCI）」「故障状況」をできるだけ詳しく、お買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

症状	原因	処置
デバイスを認識しない。	• 接続が不完全。 • その他のデバイスとIRQなどのリソースが競合している。	• 11～12ページを参考に、オーディオボードが確実にPCに接続されているか、確認してください。 • ボードを取り付けるPCIスロットの位置を変更、または利用していないオンボードデバイスをBIOSから無効に設定をします。
音声が出ない。	• ミュートされている。 • 出力レベルが小さい。 • 他の音声出力デバイスが使用されている。 • 外部アンプあるいはスピーカーに問題がある。	• オーディオコントロールパネルの「ソース」パネルを開き、各音声のミュートのチェックをはずしてください。 • オーディオコントロールパネルの「ソース」パネルを開き、各音声出力のレベルを適正な値に調整してください。 • コントロールパネルにある「マルチメディアのプロパティ」を開き、「再生」の「優先するデバイス」から本製品を選択してください。それでも出力されない場合は、「優先するデバイスのみ使用する」のチェックボックスにチェックを入れてください。 • ラインアウト端子から外部アンプやスピーカーに確実に接続されているかどうか確認してください。その際、ケーブルに問題がないか併せてご確認ください。また、外部アンプやスピーカーの電源やボリュームを確認してください。
左右の音量バランスがかたよっている。	• バランスが中央に設定されていない。 • 外部アンプあるいはスピーカーに問題がある。	• オーディオコントロールパネルの「ソース」パネルを開き、マスターボリュームのフェーダーリンクのチェックをはずし、左右の出力バランスを調整してください。 • 外部アンプやスピーカーのバランスを確認してください。

困ったときは

症状	原因	処置
5.1chデジタル出力ができない。	• 使用しているソフトがSE-90PCIでのデジタル出力に対応していない。	• SE-90PCIの仕様はデジタル出力に対応しています。PowerDVD6およびWinDVD6では対応確認済みです。 • DVD-ROMドライブやパソコン等にバンドルされているDVD再生ソフトの場合、製品の仕様等によって5.1chデジタル出力が制限されている場合があります。
	• 音声ボリュームの調整が適切でない。	• オーディオコントロールパネルの「ソース」パネルを開き、WAVEのボリュームフェーダーをいちばん上（最大）に設定してください。
	• Windows 2000で、Service Pack 3以降のインストールがされていない。	• Service Pack 3以降をインストールしてください。
音が途切れる。	• 音声出力中に、負荷のかかる作業をしている。	• CPUに負荷のかかる作業は控えてください。
	• CPUの処理が再生に追いついていない。	• CPUが推奨スペックを満たしていない場合は期待した性能を発揮できない場合があります。また、CPUが推奨スペックを満たしている場合でもCPUが非常に高負荷の状態である場合は音が途切れることがあります。この場合は他のアプリケーションをすべて終了してください。
	• DVD再生時、グラフィックカードのハードウェア再生支援機能を持っているPCで、機能が動作していない。	• DVDプレーヤーソフト側でハードウェア再生支援機能を有効にしてください。
雑音が多い。	• テレビなど、強い磁気を帯びたものの近くに置いている。 • 出力端子の接続が不完全。 • 外部スピーカーに問題がある。	• テレビなどから十分に離して置いてください。 • 13ページを参照して確実に接続してください。 • 接続するスピーカーの製造元にお問い合わせください。
CD-ROMドライブからの音声が出力されない。	• CD-ROMドライブがデジタル音声出力に対応していない。	• CD-ROMドライブからの音声ストリームに対応していない場合、CD-ROMドライブから音声は出力されません。音声ストリームに対応しているCD-ROMドライブをご利用ください。 • デバイスマネージャのCD-ROMドライブのプロパティ画面から「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを再生可能にする」のチェックを入れてください。
24bit/192kHzが再生できない。	• Windows XP SP1以降がインストールされていない。	• Windows2000では24bit/96kHzまでしか対応していません。Windows XP SP1以降をインストールしてください。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　SE-90PCI
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

お客様ご相談窓口

電話でのお問い合わせ：
ナビダイヤル 0570-01-8111
（全国どこからでも市内料金で通話いただけます）
または 072-831-8111（携帯電話、PHS から）

サポート時間：月～金曜日
（土日祝、弊社休日を除く）
9:30 ～ 17:30

FAX でのお問い合わせ：072-831-8124

手紙でのお問い合わせ：
〒 572-8540
大阪府寝屋川市日新町 2 番 1 号
オンキヨー株式会社
カスタマーセンター宛

メールフォームによるお問い合わせ：
http://www.jp.onkyo.com/ から
オンキヨーホームページを開く
↓
▶ サービス・サポートをクリック
↓
「メール（フォーム）によるお問い合わせ」の「PC周辺機器に関するご購入相談・機能取扱」をクリックしてください。

製品に関する最新情報などは：
ホームページアドレス
http://www.jp.onkyo.com/
http://www.jp.onkyo.com/wavio/
をご参照ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日

ご購入店名：

Tel. ( )

メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/
http://www.jp.onkyo.com/wavio/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル☎0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または☎072(831)8111（携帯電話、PHSから）

Printed in Japan
D0502-1

SN 29344024

(C) Copyright 2005 ONKYO CORPORATION Japan. All rights reserved.

* 2 9 3 4 4 0 2 4 *